

編集後記

今号も充実の3論文が揃いました。

第1論文(寺田他)は、看図アプローチの可能性が多方面にわたるものを感じさせるすぐれた実践・研究の報告です。寺田他論文の素晴らしさは、論文タイトルが「ChatGPT」で始まっていることからわかります。今回、寺田他は看図アプローチの発問づくりにChatGPTを活用しました。看図アプローチでは、学習者にビジュアルテキストを「よく見て」もらいます。しかし、授業者が「よく見てください」と指示しても、学習者の「よく見る」活動は引き出せません。学習者は「よく見る」とはどうすることなのかを知らないからです。寺田他の着眼の素晴らしさは、学習者の「よく見る」活動を引き出す発問づくりをChatGPTに手伝ってもらっているところにあります。授業者である寺田は、どんなビジュアルテキストを使い、どんなプロンプト(指示)をChatGPTに示し、最終的にどのような発問を生成し授業に用いたのでしょうか。寺田他論文では、これからの授業づくりに役立つ大きな成果が報告されています。さらに寺田他論文では「火山災害」をテーマにした授業がデザインされています。近い将来大きな災害が予測されている今、このテーマで授業を行うこと自体が意義深いことだと思います。

松尾他の第2論文もエポックメイキングな実践報告になりました。この論文をもって「高校理科学科目(物理・化学・生物・地学)の看図アプローチ実践報告が出揃った」のです。松尾他論文はもちろん、これまで報告された高校理科看図アプローチ実践は、どれもスマートでエレガントな授業になっています。またどの論文も、授業をされる先生の個性を活かしつつも汎用性の高い授業モデルを提供するものになっています。高校理科学科目での看図アプローチ実践を成し遂げるにあたって、本論文第2筆者となっている溝上広樹が重要な貢献してくれました。授業者である松尾は「ゼノンのパラドックスのような歴史ある問い」と看図アプローチを組み合わせることで「生徒の多面的・多角的な興味・関心を喚起」できることを示してくれています。看図アプローチ授業づくりアイデアの見つけ方についても松尾他論文は参考になります。

第3論文は、石田ゆきの単著です。石田は、協同学習促進ツール「きゅうちゃん」の発明によって看図アプローチの発展に多大の貢献をしてくれています。今号では前報に引き続き「きゅうちゃん」を授業への「出席確認」に活用した成果を報告しています。「出席確認」はたいていの授業では教師が行う作業です。しかし石田は「出席確認」の位置づけを180度転換し、かつより重要な役割を与えています。石田は、学習者が「その日・その時間・その場所にいる自分自身をきちんと認識」する仕掛けとして「出席確認」を位置づけているのです。「出席確認」する主体を、教員から学習者に移すことで、授業の始まりから主体的学びをスタートさせる画期的な工夫を実現しています。そしてその工夫をサポートしているのが「進化したきゅうちゃん」なのです。「進化したきゅうちゃん」に出会った学生たちは、各自の個性を十分に生かしてきゅうちゃんの読み解きをしてくれます。学生たちの独創的読み解きは、教員の予想をはるかに超える素晴らしいものになります。そのため学生たちの読み解きから教員もたくさんのことを学ぶことができます。授業の最初に行われる「出席確認」という作業から学生も教師も背中を押してもらって、その日の学習に入っていけるのです。背中を押してもらって始める学習ですが、それは決して受動的なものではありません。背中を押してもらえがゆえに踏み出せる「主体的な一歩」があるのです。石田の実践は重要な教育的意味と意義を伝えてくれています。

<表紙を読み解く>

空がきれいです。新年早々の北海道江別市の空です。ナナカマドは落葉した後も実が残ります。果房の上に雪をのせた姿もよく写真に撮られています。赤い実は青空にも映えます。この写真を撮った日はマイナス7~8℃の寒さです。そんな冷気の中でもナナカマドは春への備えをちゃんと始めています。枝の先端では芽吹きを待つ新芽が青空に向かって真っ直ぐに伸び上がっています。

私たち全国看図アプローチ研究会もたくさんの成果をあげられるようになってきました。成果が成果を生み出すようにもなっています。そしてさらにもっともっと高みに届くように青空に向かって手を伸ばしているところです。そんな私たちの「背中を押してくれる」表紙に仕上がっています。

実りと芽生えを写し撮ったこの写真も、全国看図アプローチ研究会専属アートスタッフ石田ゆきの作品です。

文責 鹿内信善

全国看図アプローチ研究会研究誌 24 号

発行年月日 2025 年 1 月 11 日

編 集 「全国看図アプローチ研究会研究誌」編集委員

石田 ゆき

伊藤 公紀

織田 千賀子

鹿内 信善 *

山下 雅佳実

渡辺 聡

(* 印は編集代表)

発 行 全国看図アプローチ研究会



kanzu-approach.com

事務局長・編集長・DTP・表紙デザイン 石田ゆき